

福利厚生企画・導入に携わっており、
食事補助・置き社食サービスを導入済みまたは検討中の
人事・総務担当者に聞いた！

【従業員の食事支援を始めるには？】
96.4%が物価高の影響を実感するも、
9割超が「集計・管理の手間」に躊躇

物価高時代における従業員の食事支援に関する実態調査

Research Outline

調査概要

調査機関

心幸ホールディングス株式会社

調査名称

物価高時代における従業員の食事支援に関する実態調査

調査方法

IDEATECHが提供するリサーチマーケティング「リサピー®」の企画によるインターネット調査

調査期間

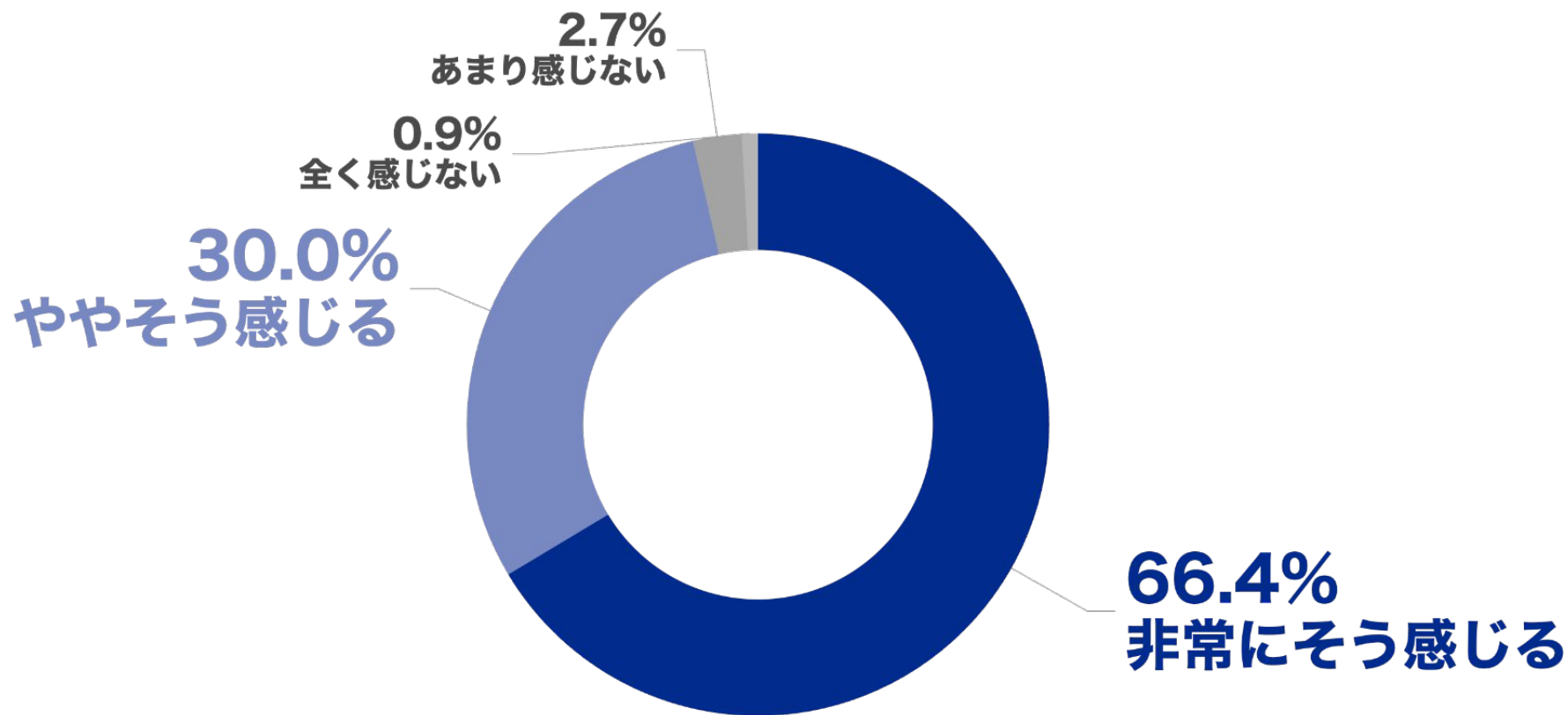
2026年4月6日～同年4月7日

有効回答

福利厚生企画・導入に携わっており、食事補助・置き社食サービスを導入済みまたは検討中の人事・総務担当者110名

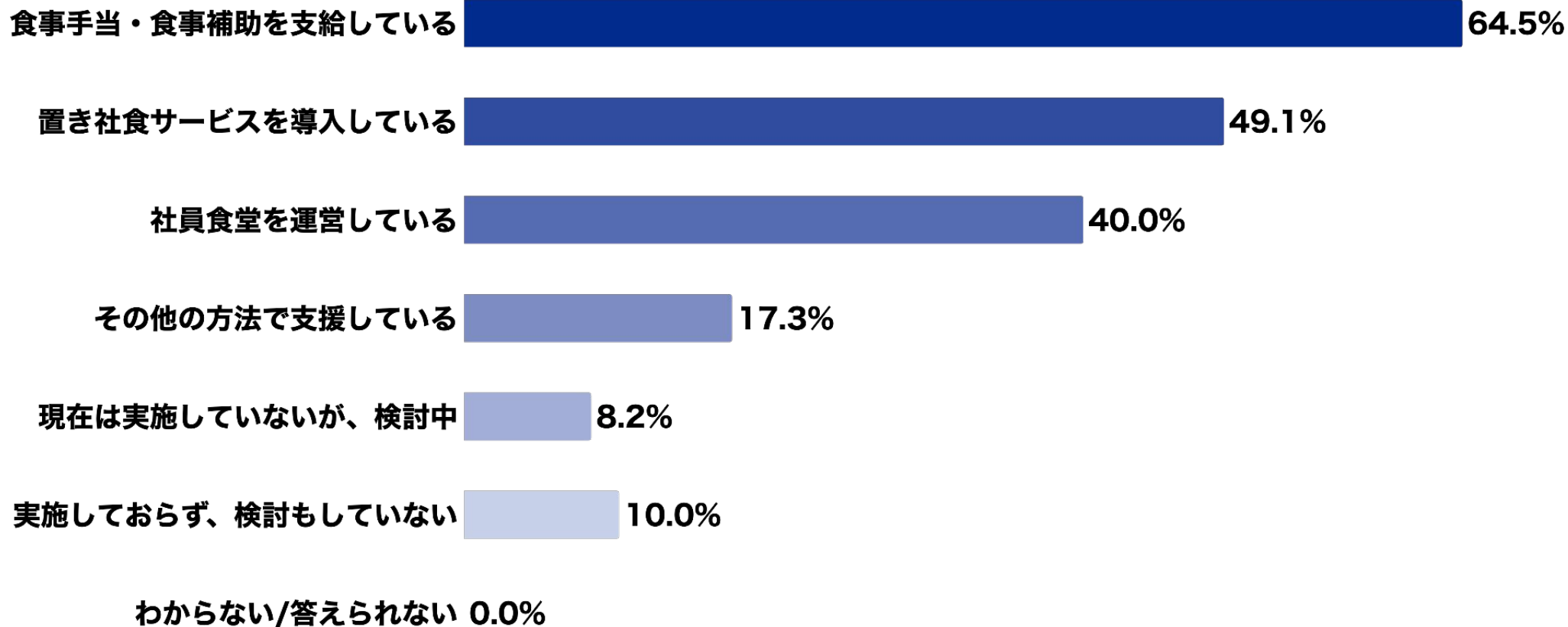
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

Q1 あなたは、物価高の影響で、従業員の食費負担が以前より増えていると感じますか。



担当者の96.4%が物価高による「従業員の食費負担増」を実感しており、そのうち 66.4%は「非常にそう感じる」と回答しています。

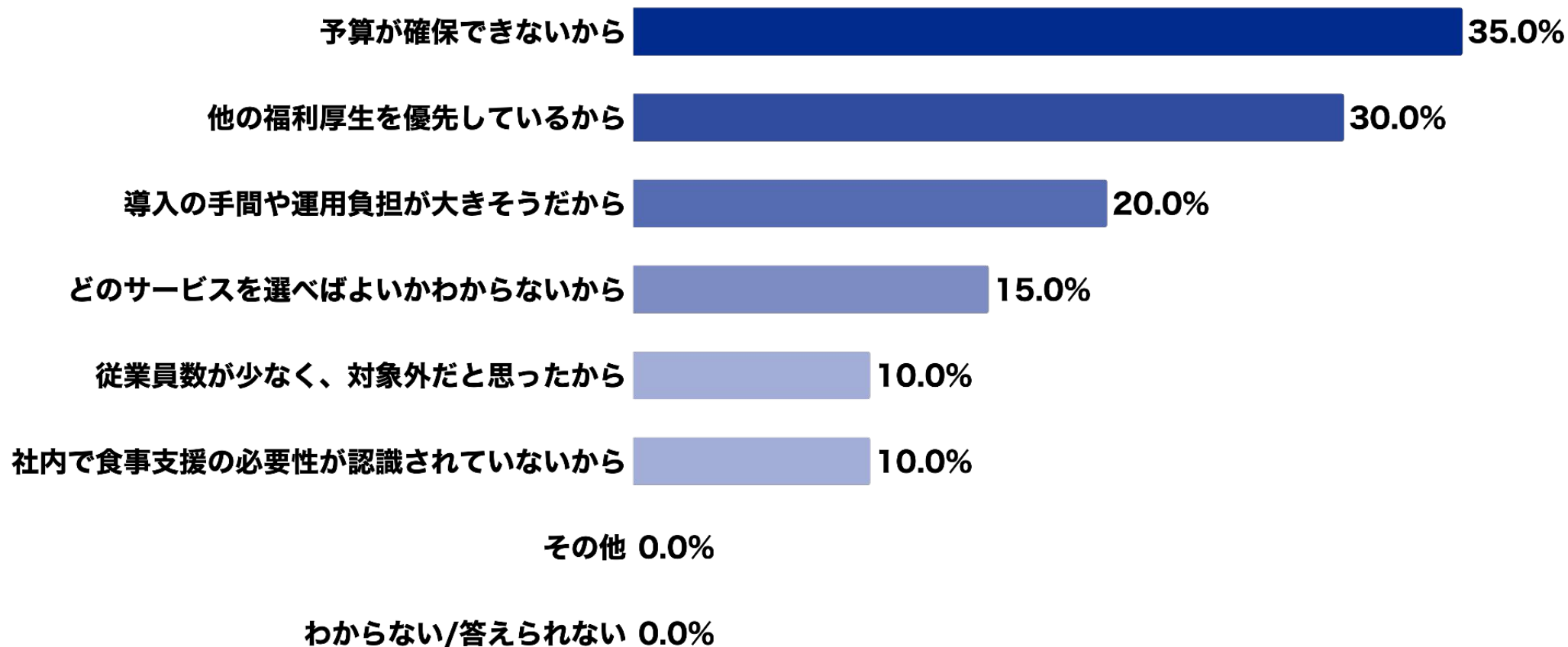
Q2 あなたの会社では、従業員の食事を支援する施策を実施していますか。 (複数回答)



実施している食事支援策としては、
「食事手当・食事補助の支給」が 64.5%で最も多く、
「置き社食サービス」も約半数が導入しています。

Q3

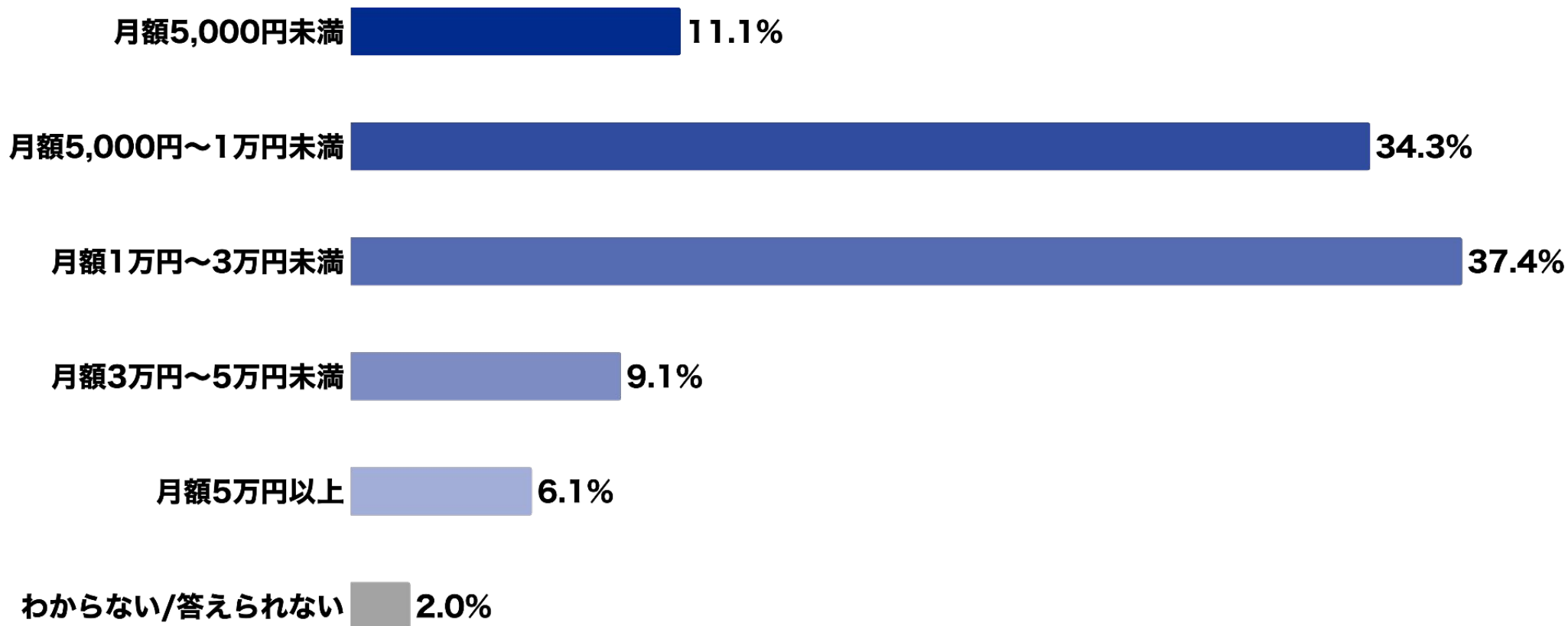
*Q2で「現在は実施していないが、検討中」「実施しておらず、検討もしていない」と回答した方への質問
食事支援を導入していない理由を教えてください。(複数回答)



食事支援を導入していない理由として、「予算が確保できない」が35.0%、「他の福利厚生を優先」が30.0%と、上位を占めています。

Q4

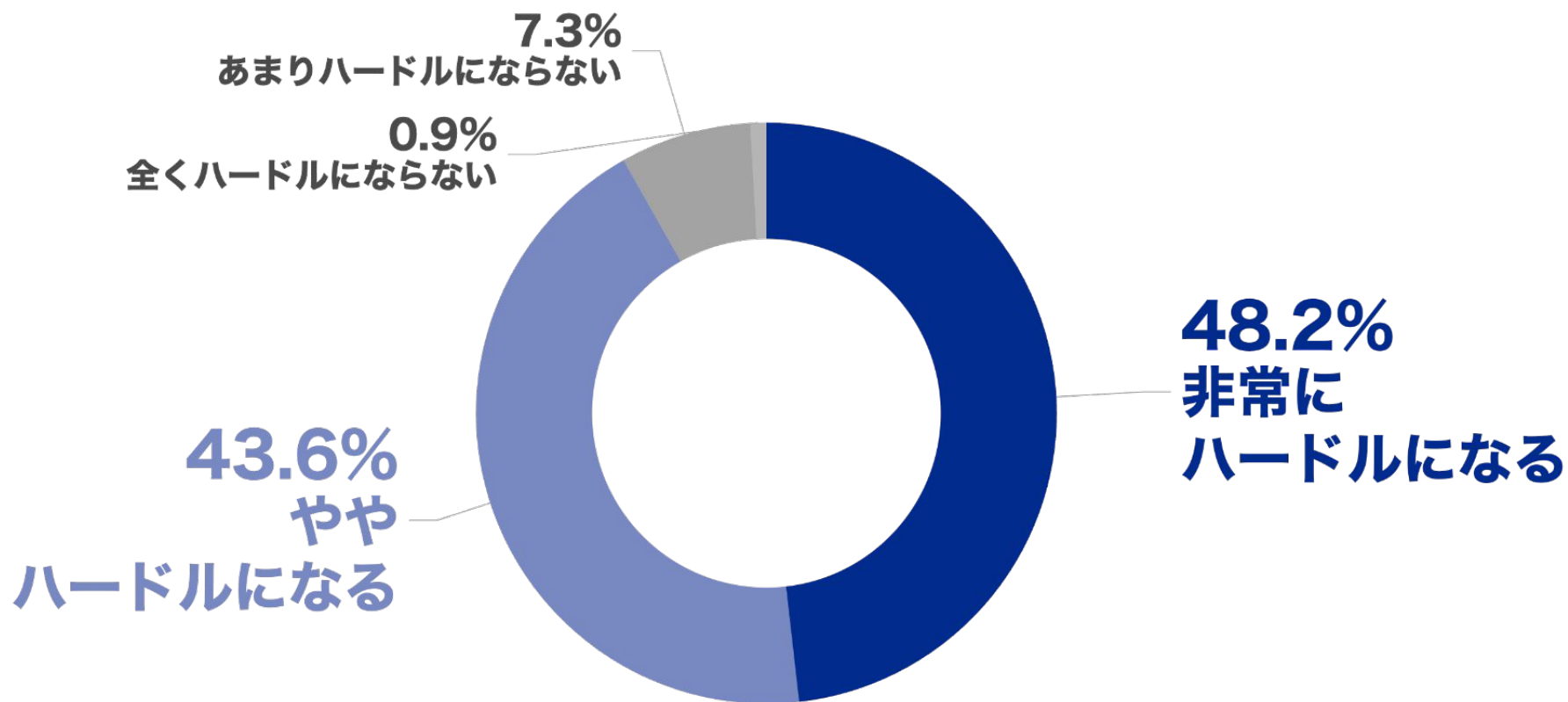
*Q2で「実施しておらず、検討もしていない」「わからない / 答えられない」以外を回答した方への質問
あなたの会社が従業員の食事支援に充てられる予算(月額)として、現実的だと思う金額を教えてください。



担当者が現実的と考える食事支援の月額予算は、「1万円～3万円未満」が約4割を占めています。

Q5

あなたは、従業員への物価高対策として食事補助を行う際、担当者の「集計・管理の手間」が増えることは、施策導入のハードルになりますか。



9割超の方が、食事補助を導入する際の「集計・管理の手間」をハードルに感じていると回答しています。

置き社食・従業員へ食事補助なら「オフめし」

＼ 従業員の好きな商品を必要な分だけ /
月額**6,000円**で始める
ミニコンビニ型の置き社食サービス

 **オフめし**
OFFMESH

冷蔵・冷蔵そうざい・冷凍弁当、常温保存そうざい、カップ麺、パン、お菓子、飲料など、800種類以上の商品を扱い、卸価格で提供します。

置き社食・従業員へ食事補助なら「オフめし」。

安い!
全アイテム
卸価格!

社員1人
でも
導入OK

従業員への
商品価格設定
自由!



※表示価格は税抜き価格です。

「オフめし」は企業の福利厚生を強化する置き社食を設置できるサービス。冷蔵庫や棚を使って社員食堂代わりに健康を意識した食事の提供や、800品以上の豊富なラインナップを低コストで導入し、社員満足度の向上に貢献します。

▼オフめしの6つの特徴

- 01 | 業界最安値(※)従業員1名から導入可能&全国対応
- 02 | 卸価格で商品が購入可能
- 03 | 販売価格は「自由設定」
- 04 | 契約の「縛り」なし。いつでも解約可能
- 05 | 800アイテム以上 & 3温度帯対応
- 06 | 最短1ヶ月でスタート。設置工事不要

※自社調べ

詳しくはこちら: <https://www.shinko-jp.com/offmeshi/>

Contact

お問い合わせ

企業名
心幸ホールディングス株式会社

TEL
090-5556-0063

MAIL
mail@shinko-jp.com

WEB
<http://www.shinko-jp.com>

会社住所
〒661-0976
兵庫県尼崎市潮江1-2-6
JRE尼崎フロントビル2階